

第6章

タイにおける活動

シンガポールを出港して、次の訪問地バンコク（タイ王国）に着港した。

参加青年は歓迎夕食会に招待され、また、文化施設及

び大学を訪問し、現地学生との交流の機会を得た。さらに、一般家庭でのホームステイを通じて、地域の生活及び文化を体験した。

1 活動日程

月日	時間	活動内容
2月11日 (水)	7:30-8:45 9:00 9:30-11:00 14:00-15:15 17:00-21:00	タイ国旗掲揚式（於 ドルフィンホール） バンコク港着岸 受入委員会によるタイ寄港地活動に関するブリーフィング（対COC） 歓迎式典（於 バンコク港） ・ PYによるフラッグ・チアー ・ Mr. Kantapong Rangsesawang社会開発・人間安全保障省事務次官挨拶 ・ 牧野将宏管理官挨拶 ・ PY代表東ティモールYL挨拶 歓迎夕食会（於 クイーン・シリキット国立コンベンションセンター） ・ Mr. Kitti Intharakul社会開発・人間安全保障省副事務次官挨拶 ・ 牧野将宏管理官挨拶 ・ PY代表ベトナムYL挨拶 ・ 記念品交換 ・ RCによるパフォーマンス ・ PYによるパフォーマンス
2月12日 (木)	10:00-12:00 13:00-16:00	関係機関視察（SG別） グループ1（SG-A、SG-B、SG-C）：バンコク国立博物館 グループ2（SG-D、SG-E）：ワット・アルン（暁の寺） グループ3（SG-F、SG-G）：ワット・プラチェートゥボン グループ4（SG-H、SG-I、SG-J）：王宮 グループ1（SG-A、SG-B、SG-C）：チュラロンコン大学政治学部 グループ2（SG-D、SG-E）：ラジャマンガラ工科大学プラナコーン校 グループ3（SG-F、SG-G）：タイ王国国会 グループ4（SG-H、SG-I、SG-J）：社会開発・人間安全保障省
2月13日 (金)	8:30-9:00 9:45-10:00 10:00-11:30 11:30-12:30 18:00-21:00	参加青年にむけたホームステイ説明（於 ドルフィンホール） ホームステイ・マッチング（於 ドルフィンホール） 船内見学（ホームステイ受入家庭向け） 船内見学（その他招待者向け） ----- <管理官、NL> 既参加青年のつどい（於 ドルフィンホール及びダイニングルーム）
2月14日 (土)		<PY> -ホームステイ- ----- <各国政府代表者> スワンナプーム空港へ到着 フィリピン（PR730） ブルネイ（BI513） インドネシア（GA866） マレーシア（MH788） シンガポール（SQ710） ベトナム（VN615） ラオス（TG571） 東ティモール（TG432）

月日	時間	活動内容
2月15日 (日)	15:00-16:00	ホームステイよりPY帰着 (於 Centara Grand Ladprao Bangkok)
	16:00-17:00	国別ミーティング
	17:00-18:30	ディスカッション成果発表会・サマリー・フォーラム準備
	19:30-22:00	ディスカッション成果発表会・サマリー・フォーラム準備
	19:30-20:30	<管理官、NL> COCミーティング
	12:00-14:00	<各国政府代表者> ランチミーティング
	14:00-16:00	<各国政府代表者、事後活動組織代表者> 令和7年度「東南アジア青年の船」事業(49回)各国政府代表者連絡会議
2月16日 (月)	9:30-11:30	ディスカッション成果発表
	13:30-15:00	サマリー・フォーラム
	15:45-16:15	解散式 ・ 開会 ・ 牧野将宏管理官挨拶 ・ PY代表フィリピンYL挨拶 ・ 修了証授与
	16:15-16:45 18:00-20:00	帰国説明 解散交歓会 ・ 開会 ・ 牧野将宏管理官挨拶 ・ PY代表日本YL、ラオスYL挨拶 ・ Mrs. Apinya Chompumas社会開発・人間安全保障省子供青年局長乾杯挨拶 ・ PYによる3分パフォーマンス ・ 記念撮影
2月17日 (火)		<NL、PY、ファシリテーター、各国政府代表者、事後活動組織代表者> スワンナプーム空港から帰国
	11:55	ラオス (TG570)
	12:00	シンガポール (SQ707)
	12:20	ベトナム (VN610)
	13:20	フィリピン (PR731)
	13:30	ブルネイ (BI514)
	14:15	マレーシア (MH789)
	14:15	東ティモール (MH789)
	21:15	インドネシア(GA867)
	22:25	日本 (NH850)

2 歓迎式典

2月11日14時より、バンコク港において歓迎式典が行われた。まず初めに各国参加青年によるフラッグ・チアーがあり、続いて、Mr. Kantapong Rangsesawang社会開発・人間安全保障省事務次官より歓迎の辞が述べられ、来賓及び参加者に対し心からの歓迎の意が表された。その後、牧野将宏管理官が挨拶を行い、本事業受け入れへの謝意を示すとともに、本プログラムの意義について言及した。最後に、PYを代表して東ティモールYLが挨拶を行い、式典は終了した。



東ティモール・ユース・リーダーによる挨拶

3 歓迎夕食会

2月11日17時より、クイーン・シリキット国立コンベンションセンターにおいて歓迎夕食会が開催された。

夕食会は、Mr. Kitti Intharakul 社会開発・人間安全保障省副事務次官による挨拶で幕を開け、来賓及び参加者に対して温かい歓迎の言葉が述べられた。続いて、牧野将宏管理官より挨拶があった。その後、PYを代表してベトナムYLがスピーチを行った。続いて、各代表団の間の友情と相互尊重を象徴する記念品交換が行われた。プログラムの後半では、受入委員会によるパフォーマンスに続き、参加青年による文化パフォーマンスが披露された。



Mr. Kitti Intharakul 社会開発・人間安全保障省副事務次官による挨拶

4 関係機関等視察

	午前	午後
グループ1	バンコク国立博物館	チュラロンコン大学政治学部
グループ2	ワット・アルン (暁の寺)	ラジャマンガラ工科大学プラナコーン校
グループ3	ワット・プラチェートウボン	タイ王国国会
グループ4	王宮	社会開発・人間安全保障省



グループ1：バンコク国立博物館



グループ1：チュラロンコン大学政治学部



グループ2：ワット・アルン (暁の寺)



グループ2：ラジャマンガラ工科大学プラナコーン校



グループ3：ワット・プラチェートウボン



グループ3：タイ王国国会



グループ4：王宮



グループ4：社会開発・人間安全保障省

5 ホームステイ・マッチング及び船内公開

2月13日9時45分より、ドルフィンホールにおいてホームステイ・マッチング・セレモニーが開催された。

はじめに、受入委員会より、ホームステイ期間中の注意事項及び助言に関する説明が行われた。その後、各受入家庭と当該家庭に滞在する参加青年が順に登壇し、記念撮影が行われた。また、参加青年の案内のもと、ホストファミリーは船内見学を行った。



6 解散式

2月16日15時45分より、本プログラムの締めくくりとして解散式が開催された。まず初めに、牧野将宏管理官が挨拶を行い、参加者及び関係者に対し、プログラム期間中の貢献と協力に対する祝意と謝意を表した。続いて、フィリピンYLがPYを代表して挨拶を行い、本プログラムを通じて得られた意義深い経験及び強化された友情の絆について述べ、謝意を表明した。その後、各代表団のユース・リーダーが代表して修了証を受領した。



牧野将宏管理官挨拶

7 解散交歓会

2月16日18時より、プログラムの成功を祝し、和やかな雰囲気の中で解散交歓会が開催された。

はじめに、牧野将宏管理官が挨拶を行い、参加者及び運営関係者に対し、プログラムへの協力に対する深い感謝の意を表した。続いて、PYを代表して日本YL及びラオスYLがスピーチを行い、共有した経験を振り返るとともに、謝意を述べた。

その後、Mrs. Apinya Chompumas タイ社会開発・人間安全保障省子供・青年局長が乾杯の発声を行い、各国間の継続的な友情及び将来の協力関係への期待を述べた。

さらに、参加青年による3分間のパフォーマンスが披露され、会場は活気と熱気に包まれた。続いて記念撮影が行われた。最後に閉会の挨拶が行われ、意義深い夕べ

は幕を閉じた。



Mrs. Apinya Chompumas タイ社会開発・人間安全保障省子供・青年局長乾杯挨拶

8 各国政府代表者連絡会議③

第49回事業の終盤の2月15日に、タイ（バンコク）のホテルにて、各国政府代表者連絡会議を開催した。各国政府代表者連絡会議では、第49回事業内容の評価や第50回事業の方針について協議を行った。



9 日本参加青年振り返り／帰国

2月17日、日本とタイを除く各国のナショナル・リーダー（NL）と参加青年（PY）は、バスでスワンナプーム国際空港に向かい、それぞれの帰路に就いた。

日本参加青年は、出発前にホテルにて振り返りを行い、IYEO（日本青年国際交流機構）についての説明を受け、事後活動に向けた計画について議論した。その後、バスで同空港へ向かい、日本へと帰国した。

